

指導方法等の改善計画について

算 数

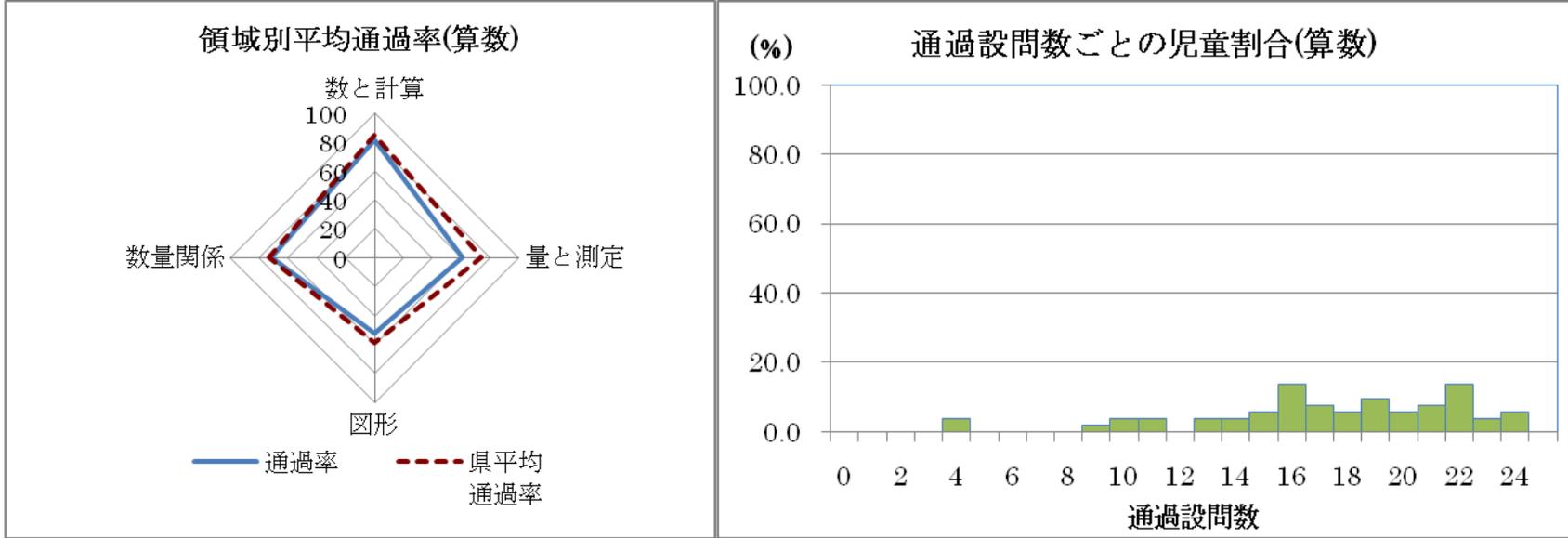
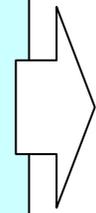
「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **69.5%** 市平均 **72.9%**

昨年度の課題

- ① 「数と計算」において、図示されたものを分数で表す問題の正答率が低かった。
- ② 「図形」において、長方形の定義についての問題の正答率が低かった。設問の意味理解が不十分だったようだ。

昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

- ① 「数と計算」の課題に対して、分数を多面的、多角的な視点から絵や図に表す活動を通して、分数の理解をより深めていく。
- ② 「図形」において、平面図形の定義を繰り返し確認するとともに、具体物を用いた操作活動を多く取り入れ、図形の感覚を育てていく。



重点課題

- ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査
 - ◇ : 全国学力・学習状況調査
- ◎・・・「数と計算」の領域では、昨年度と同様に、図から、分数を読み取る問題の正答率が低かった。
- ◎・・・「図形」領域において、特にひし形の定義を示す問題の正答率が低かった。これは、三角形が4つ組み合わせるとひし形になる理由を示す力が不十分であったと考えられる。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 「数と計算」領域の課題に対して、図と分数を対応させる活動を多く取り入れる。図から分数を示したり、分数から図を示したりするなど、図と分数を関連させてとらえることができるよう指導する。
- ② 「図形」領域の課題に対して、定義・性質を学習するさいに、図を構成・分解・観察する活動を取り入れ、図形についての見方や感覚を豊かにすることができるようにする。また、ものさしや分度器などを使って、正しく測定したり、作図をしたりする活動を繰り返し行っていく。

今年度の評価指標 ○具体物を用いたり、操作的な活動を取り入れたりとすることで、図形や数への見方や感覚を豊かにし、「図形」領域の通過率10%向上を目指す。

国語

1 教科について

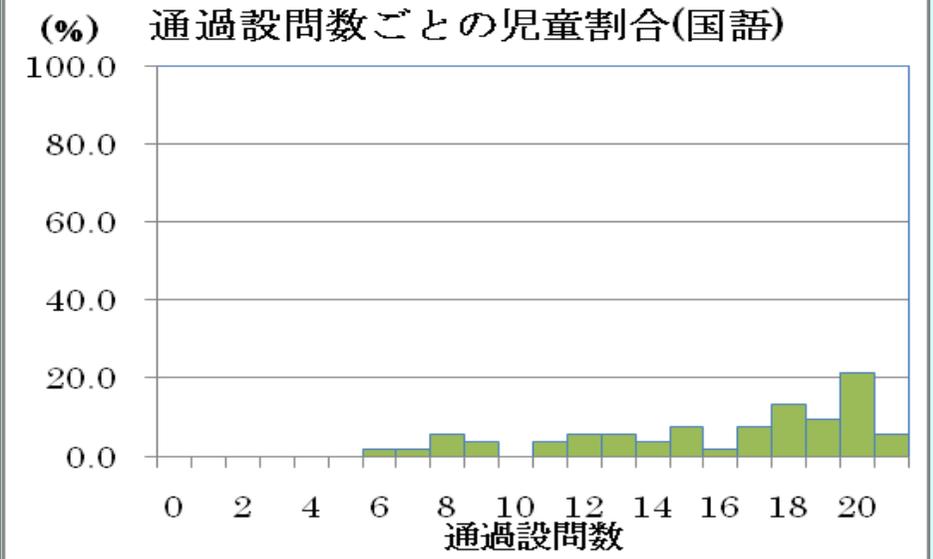
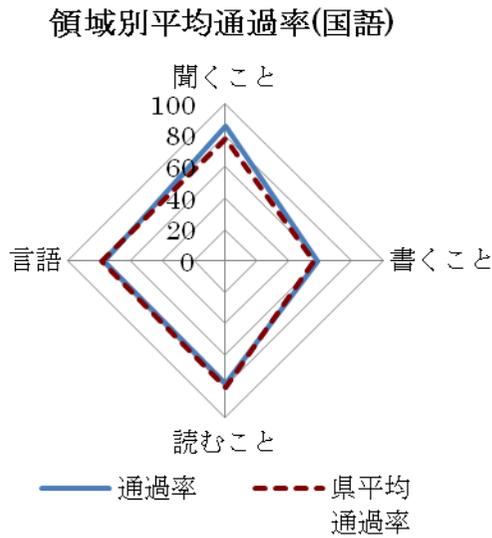
昨年度の課題

- ①「言語事項」において、普段使わない漢字やローマ字の定着が不十分である。
- ②「読む」において、情景などを想像しながら読むことや段落の関係を考え読むことに課題が見られた。

昨年度の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- ①「言語事項」の課題に対して、全学年までの漢字やローマ字を繰り返し学習している。また、辞書の引き方の再確認をするとともに、辞書を引くことの習慣化を図った。
- ②「読む」の課題に対して、叙述を基に想像させたり、文と文のつながりに留意させ、文章を正しく読む力を付けるよう指導した。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 75.8% 市平均 74.1%



重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査 ◇: 全国学力・学習状況調査

- ◎・・・「書くこと」の領域において、理由を挙げて説明する力、文章の推敲する力が不十分である。
- ◎・・・「読むこと」の領域において、段落相互の関係を読み取る問題の正答率が低かった。
- ◎・・・「言語事項」において、ローマ字の定着が不十分である。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

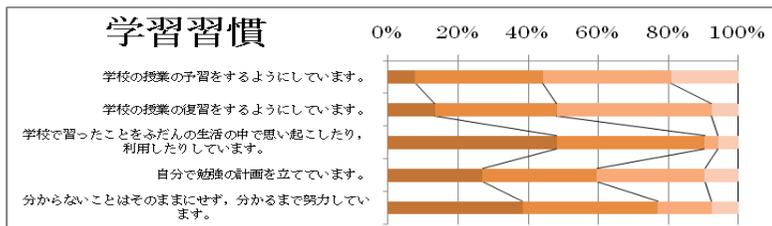
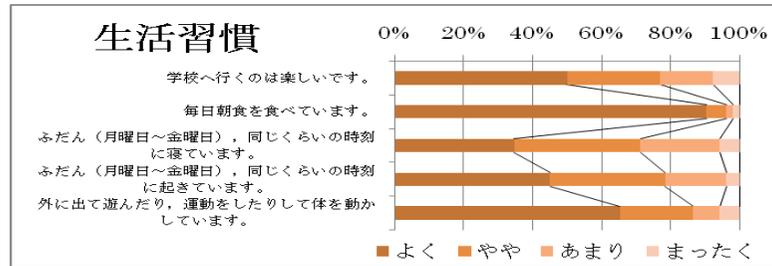
- ① 「書くこと」領域の課題に対して、理由を挙げて説明する文章に書き慣れるよう、機会をできるだけ増やしていく。
- ② 「読むこと」領域の課題に対して、文と文のつながりや段落同士のつながりを意識させ、音読や読解を行うことができるよう指導する。
- ③ 朝学習などを活用し、ローマ字や既習漢字を繰り返し学習していく。

今年度の評価指標

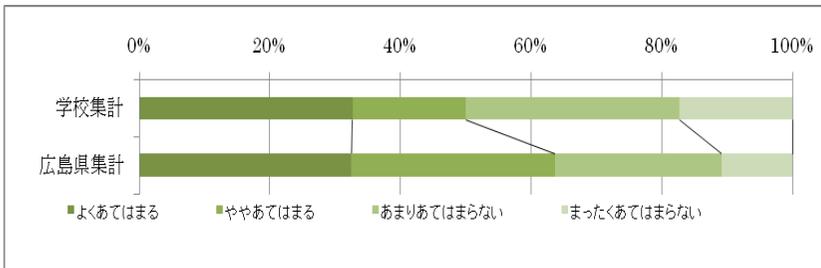
- 目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことを重点的に取り組むことで、「書くこと」の領域の通過率10%向上を目指す。
- 「言語事項」ローマ字学習では、帯時間や家庭学習だけでなく、パソコンでローマ字を入力するなど、日常的に使用することを通して、定着を図る。
- ローマ字の反復学習を通して、読み・書きの平均通過率15%向上を目指す。

2 質問紙調査 (学校質問紙調査, 児童質問紙調査) (全国学力・学習状況調査: 学校質問紙, 児童質問紙)

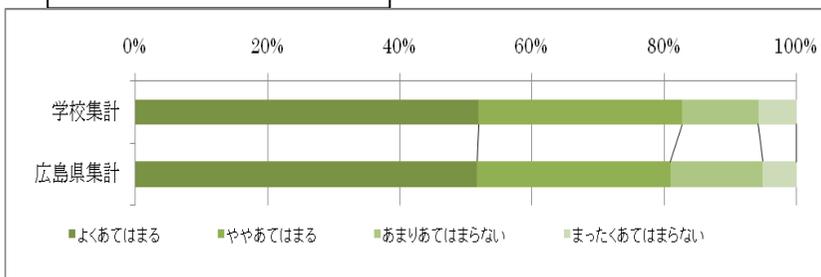
(1) 生活・学習



国語の授業では, わからない言葉や漢字は, 辞書を使って調べています。



算数の授業はよく分かります。



改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組の内容
◎・・・1日に4時間以上テレビを見たりゲームをしたりしている児童が昨年に比べ, 2%増えている。	◎家庭でテレビを見たり, ゲームをしたりする時間を減らし, 読書に費やす時間が増えるよう, 懇談会や通信等で家庭に呼びかけていく。
◎・・・「自分のよさは, まわりの人から認められている」と感じている児童が6割程度しかいなかった。	◎温かい人間関係を築き, 互いに相手の良さを認め合い, 個々の考えを交流しながらともに成長していくことのできる学級集団作りに努める。また, 児童の良さや成長を懇談会や教育相談, 学級通信等で積極的に家庭に伝えていく。

来年度の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・1日に4時間以上テレビを見たり, ゲームをしたりする児童の割合を5%以上減らす。 ・「自分のよさは, まわりの人から認められている」と感じる児童を8割にする。
---------	---

	児童の回答と学校の指導についての課題	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	◎・・・メモを取りながら話を聞くことに課題がある。	◎・・・低学年から, 発達段階に合わせて目的に合ったメモの取り方を学習し, 書く力を高めていく。
算数	◎・・・「理由を挙げて自分の考えや解き方を説明する」ことに課題がある。	◎・・・課題解決の方法を多様に考える活動を仕組み, 絵や図, 表などをかき, 解き方の見通しをもつ習慣をつけることができるようにする。また, ペア学習を多く取り入れ, 抵抗なく自分の考えや意見を伝え合える場を仕組む。

来年度の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の授業で, メモを取りながら聞く児童を10%向上する。 ・理由を挙げて, 自分の考えや解き方を説明する児童を10%向上する。
---------	--

指導改善のための実施スケジュール

	～8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
	Plan	Do				Check	検証	Action	Check	
	結果の分析・H23の改善計画の見直し H24の改善計画の実施							次年度の計画		
【教科】		理由を挙げて説明する力の指導	文と文、段落相互の関係を考える読み取り			グループ学習、ペアトーク			学校評価・自己評価の結果をもとに、分析と考察	
国語		辞書の活用、ローマ字の学習、既習漢字の繰り返し学習								
				既習漢字の復習、中間のまとめ漢字テスト			学年末テスト、漢字テスト			
算数		図と数量を対応させた学習、操作的な活動							学校評価・自己評価の結果をもとに、分析と考察	
		具体物を使った図・数量感覚の育成、図から分数を読み取る学習、分数から図を考える学習								
				中間のまとめテスト			学年末テスト			
【生活・学習】		朝読書の充実、学習規律の徹底							学校評価・自己評価の結果をもとに、分析と考察	
		相手のことも自分のことも認め合える人間関係作り、外遊びの充実、コミュニケーション能力の育成								